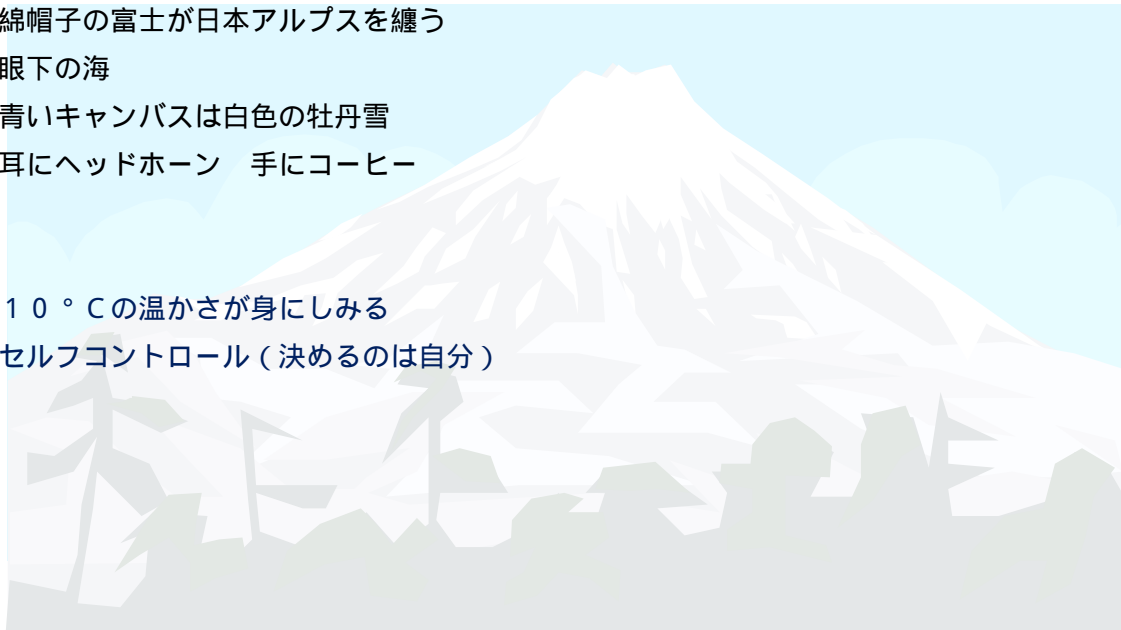




東京山手線ホーム
寒風吹き抜け心の臓ブルブル震え
緑色の車中
黒色で埋めつくされ
耳にイヤホン 手にスマホ
放送だけがこだまする

一万フィートの空の上
綿帽子の富士が日本アルプスを纏う
眼下の海
青いキャンバスは白色の牡丹雪
耳にヘッドホーン 手にコーヒー

10°Cの温かさが身にしみる
セルフコントロール(決めるのは自分)



今回の KOGA-ISO ニュースは、下記の6つがメインとなります。

1. トップマネジメント
2. TQM 通信(第10号)
3. 感染対策研修会
4. NST 委員会より
5. お礼の言葉
6. 医療安全管理室より

1 . トップマネジメント

理事長 古賀 和美



平成 24 年の正月は好天にも恵まれ、比較的、穏やかな年の初めでした。1月26日、第22回目のマネジメントレビューを行い、穏やかな年の初めにもかかわらず、やや大きな方針の変更と目標の変更を行いました。

「患者さんやその家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供する」ことを同心会の理念とします。

これからの「方針」は次のように決めました。

質の高いリスクマネジメントの構築

設備・環境の改善

職員の資質向上（人材育成）

チーム医療の推進

相手の立場にたった目配り・気配り

健全な経営管理

2012年度からは各部署は ~ の中から最少ひとつを選択し、それに相当する目標を設定してください。

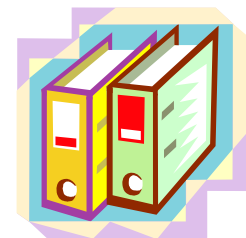
について各部署は、以下に示す古賀総合病院中・長期計画から最少ひとつを選択し、具体的な計画をたてて欲しいと思います。

2 . TQM 通信 (第 10 号)

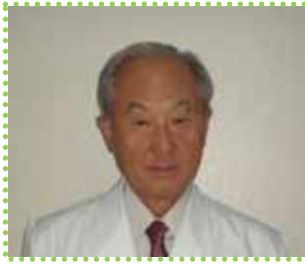
日常管理の設定について次のように定義したいと思います。

ISO 研究会で「日常管理」について取り上げました。日常の業務を管理するには、日々の業務がマニュアルなどで確定されていることが必要で、その業務が間違いなく行われているかを管理する事を「日常管理」と定義しました。

日常管理の設定には、業務を洗い出し管理できるようにすることです。この件についてご意見をお願いします。



3 . 感染対策研修会



1月18日に感染対策研修会「医療関連感染の制御 ～いま、我々に何が求められているのか～」という演目で、臨床検査科部長の南嶋先生が講演されました。

院内感染の発生は、患者さんのみならず私たち、社会的・経済的にも大きなマイナスとなります。未然に防ぐためにも私たちひとりひとりが、日々の業務の中で常に予防策を順守しましょう。

手洗い・手指衛生（一処置・二手指衛生）を行ない、手袋・マスクの取り外しのタイミングを適切にするよう心がけましょう。

一人が怠ると皆の努力がムダになります！

感染対策研修会のDVDを貸出しています。また、2月3日（金）2月10日（金）の12:30～13:45に上映会を行ないます。研修に参加できなかった方は、視聴をお願いいたします。



4 . N S T 委員会より

臨床検査技術部

癌化学療法時における栄養療法について...

抗がん剤の副作用には、消化管毒性・骨髄毒性・神経毒性・心毒性・腎毒性・脱毛・皮膚症状など様々なものが出現します。栄養療法は、その代表的なものの1つである消化管毒性の支持療法の一つとして重要な役割を担っています。



栄養療法の適応となるのは、化学療法施行前に低栄養が認められる患者さんもしくは、化学療法による消化管毒性のために栄養状態の悪化が予想される患者さんです。

栄養アセスメントは、通常と変わりはありません。

しかし、消化器切除の既往のある患者さんでは、切除された臓器の欠落症状としての摂食障害や代謝障害（ ）が起こりやすいこと、また栄養素には、消化管の特定部位から吸収されるもの（ ）があるということに注意してください。

	摂食・代謝・栄養障害	原因
食道切除	嚥下困難 体重減少 鉄の吸収障害	逆流性食道炎 1日摂取栄養量の減少 胃酸分泌の減少
胃切除	1回経口摂取量の減少 体重の減少 ビタミンB12の吸収障害 鉄の吸収障害 カルシウム吸収障害	胃容積の減少、胃の喪失 1日摂取栄養量の減少 内分泌の低下、欠落 胃酸分泌の低下、欠落 胃酸分泌の低下、欠落
膵臓切除	消化能の低下 耐糖能の低下	膵外分泌能の低下、欠落 膵内分泌能の廃絶（膵全摘）

消化管	吸収される栄養素
十二指腸	ビタミンB1・ビタミンA・鉄
近位空腸	ビタミンB群・ビタミンA
空腸全体	ビタミンB1・B2・B6・パントテン酸・ビタミンC・葉酸・ビオチン・亜鉛・鉄・ビタミンD・ビタミンE・ビタミンK・ヨウ素・マグネシウム
回腸全体	ビタミンB1・B2・B6・パントテン酸・ビタミンD・ビタミンE・ビタミンK・ヨウ素・マグネシウム
遠位回腸	ビタミンB12
結腸	ビオチン

5 . お礼の言葉

春草苑 前施設医
宮崎大学名誉教授 澤田 惇



昨年3月まで春草苑に在職していた澤田です。昨年の秋の叙勲で、瑞宝中綬章を拝受する栄に浴しました。

私は、宮崎医科大学眼科学講座の創設以来、22年間教授として在籍したことに途中2年間の附属図書館長の経歴を加えて、綬勲の推薦を頂きました。このような機会に恵まれたのは、昨年までの4年間春草苑でお世話になり、80歳近くまで生存してきたことも大きな要因のひとつであります。ここにKOGA-ISO ニュース No.128 の場を借り、謹んでご報告申し上げ、厚く御礼申し上げる次第でございます。

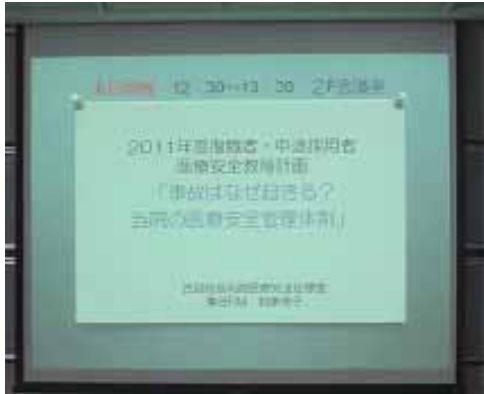
現在、日本超音波医学会超音波専門医制度委員会委員として専門医制度の維持と運営に当たり、超音波指導医として、宮崎大学医学部附属病院にて後進の指導に当たっていますが、昭和51年のむかし日本超音波医学会への最初の道をお導き頂いた古賀 孝前理事長の面影をあらためて思い出している昨今でございます。

医療法人同心会の今後のご発展と、関係者各位のご壮健を祈念いたすものであります。





2011 年度復職者・中途採用者医療安全研修会



12月19日、22日のランチタイムに「医療安全：事故はなぜ起きる？当院の医療安全管理体制」「医薬品の安全管理 - 当院の最近の事故事例から - 」の研修を企画しました。

参加者は15名ほどの看護職員が主でしたが、参加者から「楽しくなってきた、もっと他の内容もやって欲しい」など様々なニーズがあるようです。多様な勤務形態から全体教育訓練：必須研修(リスクマネジメント、感染対策、医療機器、医療倫理、防災・防火訓練)に参加できない職員のための復講型研修の運営に今後も努める予定です。

***** 職員の皆さんの理解と協力をお願いしたいと思います *****